

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

平成 30 年度 松川町有害鳥獣駆除対策協議会 総会

2 開催日時

平成 30 年 5 月 14 日（月） 午前 9 時 00 分から 午前 10 時 10 分まで

3 開催場所

松川町役場 大会議室

4 出席者氏名

松川町有害鳥獣駆除対策協議会構成員

松川町長（会長）	松川猟友会 5 名	J A みなみ信州 3 名
飯伊森林組合 1 名	鳥獣保護員 2 名	松川町交番 1 名
松川町教育委員会 1 名	下伊那農業改良普及センター 1 名	
松川町農業委員会 2 名	区長（地区協議会長兼務） 3 名	
区長 5 名	地区協議会長 2 名	

事務局

米山清博産業観光課長、宮島公香農林係長、川上輝芳主査、
矢沢農業振興係長

5 議題（公開又は非公開の別）

- （１）平成 29 年度事業報告及び収支決算について
- （２）平成 30 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- （３）その他

6 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

7 傍聴人の数

0 人

8 会議資料の名称

- ・平成 30 年度松川町有害鳥獣駆除対策協議会次第及び説明資料
- ・松川町有害鳥獣駆除対策協議会委員名簿
- ・松川町有害鳥獣駆除対策協議会委員規約

9 審議の概要

(1) 開会 (事務局)

- (2) 挨拶 (会長) 鳥獣害対策は猟友会をはじめ協議会の皆様にお世話になっております。平成23年から本格的に取り組みを始め、28年度に防護柵が全町に完成した。これで完璧とは言えないが、農作物の被害もある。維持管理し、防護柵が有効となるように対策を考えたい。すべてを行政で行うことはできず、地元の皆様にご協力をお願いしたい。また、町単独の事業では難しい。県や国へも中山間地に対応した支援をお願いしたいと考えます。まちづくり懇談会では有害鳥獣の出没しにくい対策をお願いしています。

(3) 協議事項

①平成29年度事業報告及び収支決算について

- ・事務局より捕獲実績、各事業報告、収支決算を説明
大島区長伊藤監査委員から監査報告

※質疑等

会長：捕獲資材について現状や効果の説明を。

- ハクビシンなどは民家に近い場所に出没することがあり、小型獣檻を設置している。電動ガンは各地区協議会の皆さんに貸与しています。必要な場合には協議会経由でお申し出ください。忌避剤としてウルフピーをテスト的に導入しましたが、効果という面では難しい。

福与：修理用資材について、去年は鉄筋を利用してイノシシよけに利用し、効果があった。130 cmくらいのもの。今年度もお願いしたい。また電圧のテスターが故障している。在庫があればお願いしたい。危険箇所（急傾斜地）の除草等、大変ありがたかった。今年度もお願いしたい。

- テスターは確認します。鉄筋はご提案いただき効果があったようですので、今年度も用意したいと思います。

部奈：除草、ありがたかった。松の枯損木の撤去をお願いできるとありがたいが松くい被害木が、倒れてきてしまう。お願いできれば。

- 山の中に設置していますので、被害が多くあると感じています。整備まではなかなかできませんが、予算の中で進めていきます。修理が必要であれば報告をお願いします。

②平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

- ・事務局より駆除実施計画、駆除班の編成、各事業計画、収支予算を説明

※質疑等

大島：毎週、電気が通っているか確認している。電気が通っていない場合は電柵を歩いて確認している。危険な箇所もあり、鎖やロープの設置をお願いしたい。また修繕が必要な場所が決まってきており、そういった場所への門扉

の設置など要望します。

→要望いただいた中で優先順位を決め、進めていきたいと思います。

猟友会：今年予算が多い原因は？

→サル檻の設置 200 万円があり、多くなっています。

会長：29 年度 J A の助成金お願いしていますが、30 年度もお願いできますか？
予算計上できないので、雑入になってすみません。

→J A：考えています。

J A：果樹など畑に放置したり、散乱している農家が増えてきている。残念。
1 年かけて作ったものをそんなものでも収穫して終わりにするのが農家と思
っていたが、高齢化もあり増えてきている。J A と町で協力して穴を掘って
捨てる場所を作ってあげることができるとよい。農家では土をかけてもらっ
て。そういったことを検討いただきたい。

→考えてはおりまして、広報等は行っておりますが、穴掘り事業については考え
させていただきます。

会長：ご意見いただきましたが、事業計画・収支計画の承認をお願いします。

拍手を持って承認をお願いします。承認いただきました。

③その他

- ・事務局より侵入防止柵及び大型捕獲檻等の管理、捕獲資材等の運用について説明
- ・野生動物が出没しにくい環境づくりを始めようについて説明
- ・南信州鳥獣害対策アカデミーについての説明（地域振興局）

※各地域からの要望

上片桐：上町地籍の電気柵についてですが、扉の開閉が頻繁な場所があり、毎晩
シカが入る。音で撃退できないかと考えたが、住民が近くにいるため断念。外
部に柵を設置していただきたい。

上大島：野生動物の出没しにくい環境づくりのために、私有林の所有者の方に森
林整備をお願いする文書を送りたいと思っている。一緒に考えてもらいたい。

福与：倒木によって柵が倒れてしまう。事前に木が切れないかと考える。危険個
所の除草はありがたいので継続をお願いしたい。

部奈：危険個所の除草はありがたい。対象地区を増やしていただくとありがたい。

生東：日当たりのよい場所に弦がまく。除草剤をまこうと考えているが、除草剤
の費用をお願いしたい。

猟友会：この計画をもとに進めていきます。何かありましたらお願いします。

会長：部奈の展望公園の柵はどう考えられていますか？

部奈：できれば延長させていただけるとよいが、国庫補助で作ったこともあり、
今後検討していきたい。

（４）閉会（事務局）